

東北地方太平洋沖地震を踏まえた耐震安全性評価に関する 指示文書の受領について

平成23年5月2日
北陸電力株式会社

当社は、4月28日付で原子力安全・保安院より指示文書「平成23年東北地方太平洋沖地震を踏まえた新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価結果の報告に係る原子力安全・保安院における検討に際しての意見の追加への対応について(指示)」を受領しましたので、お知らせ致します。

東北地方太平洋沖地震の発生により、従来、地震活動のほとんど観測されていなかった場所においても、この地震で誘発されたと考えられる地震活動が活発になっていることなどから、原子力安全委員会は、4月28日、新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性評価を進めるに当たっての意見を原子力安全・保安院に示しました。

これを受け、原子力安全・保安院から以下の事項について本年5月31日までに報告するよう指示がありました。

- ・東北地方太平洋沖地震の発生に伴って、大きな地殻変動が観測されたことを踏まえ、既の実施した地質調査や、各種の文献調査等の中から抽出した断層、変位地形¹、リニアメント²等に係る情報であって、原子力発電所の耐震設計上考慮する必要がある断層に該当する可能性の検討に当たって必要な情報

当社においては、今回の同院からの指示についての的確に対応してまいります。

以上

1 変位地形：断層等によって地表面が食い違ったり、変形したりしている地形をいう。

2 リニアメント：谷や尾根の傾斜急変部、屈曲等の地形的特徴が直線ないしそれに近い状態で配列している場合、その線状の地形をいう。その成因としては、断層活動、侵食等がある。